

まちの駅たかおか あすリニューアル

観光・交流の新拠点

小物など手作り品充実



リニューアルに向け準備を進める
伏江駅長(左)と津田店長

高岡

高岡市駅南の「まちの駅たかおか」龍の門は8月1日、県内の福祉施設利用者による手作り品をそろえ、地域情報を発信する場としてリニューアルオープンする。国宝瑞龍寺近くの施設として、「手作り・交流・福祉」をコンセプトとした新たな観光・交流の拠点を目指す。

まちの駅たかおかは2000年に市内の経営者ら有志が開設。ギャラリー展や土産物販売を行ってきたほか、趣味の作品を紹介する場となっていた。

スタッフの退職などに伴い、昨年末にいったん閉店。コロナ禍で観光業が大きな

打撃を受ける中、開設時の代表メンバーである伏江努さん(68)＝富山県福祉旅行センター社長＝が同社の事業の一つとして運営を手掛けることにした。

市内外の6福祉施設の利用者らによる小物やかばん、工芸品のほか、富山の名産品、アイスもなかなかオリジナル商品も販売す

る。イベントも随時開く予定。駅長を務める伏江さんと津田敏彦店長(59)は「住民と観光客が交流し、出会いが生まれる場になればうれしい」と話している。

営業時間は午前10時～午後4時。火、水曜日休。問い合わせは富山県福祉旅行センター、電話0766(21)4700。

環境月間ポスター



小学生の部の末松さんの作品



中学生の部

末松・佐伯さん 最優秀

県ととやま環境財団は30日、2020年度の環境月間ポスターコンクールの審査結果を発表し、県知事賞

・最優秀賞に、小学生の部で末松心那さん(射水市大島小4年)、中学生の部で佐伯佳蓮さん(立山町雄山

中3 小学 あり 受 月7 高

新 感 送 師 防 一 谷 同 共